

骨粗しょう症の検査が出来るようになりました。

当院では、骨密度測定の新機械を導入いたしました。



D X A（デキサ）法で測定します。

D X A（Dual-energy X-ray absorptiometry）法は、日本骨粗しょう症学会ガイドラインや世界中の骨粗しょう症ガイドラインで基準測定器として定められている X 線骨密度測定装置です。微量な 2 種類の X 線を照射して骨密度を測定する検査で、従来の骨密度検査（超音波法・MD 法など）と比べてより精度の高い方法とされています。

骨がもろくなっているかどうかを知る指標として代表的なものが「骨密度」です。

骨密度検査では、若い人と比べてどのくらい骨の量が減っているかを調べます。

骨密度検査では、X 線を使って骨の量を測ります。結果は、若い人の平均値を 100% とした時に、自分の骨の量が何%かを示されます。

骨粗しょう症は、自覚症状がなく、知らないうちに進行することがほとんどです。

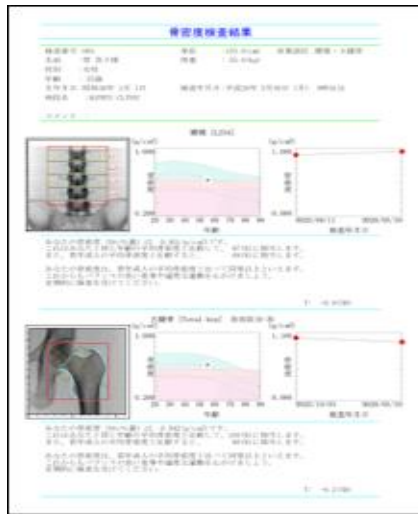
自覚症状がないからこそ定期的に骨密度検査を受けることが重要なのです。



検査時は撮影台に横になっていただくだけで、痛みもなく短時間で終了いたします。

転倒などによる骨折が起こると重症化しやすい腰椎と大腿骨部の 2 か所について検査をします。

診断に加えて、お薬の治療効果の評価にも適しています。



検査結果グラフ例

加齢とともに骨密度は低下しやすく、恐るべきは、発見が遅れると日常のちょっとしたことで骨が折れてしまう脆弱性（ぜいじゃくせい）骨折や、痛みを感じないまま知らぬ間に骨折（いつの間にか骨折）が起きることです。

結果は、若い人の平均値を100%とした時に、自分の骨の量が何%かで示されます。

骨密度が若い人の80%未満になると要注意、70%以下まで減ると、骨粗しょう症と診断されます（骨折したことがなく、他に骨密度を減らす病気などがない人の場合）。

骨粗しょう症になると、骨折が起きるリスクが高まるので、早目に診断を受け、食事や運動療法に加え、場合によっては骨を強くするお薬などによる薬物治療を早く始めることが肝心です。

特に女性では、症状がなくても50歳以上になったら定期的に骨密度を測りましょう。

検査で早目に骨粗しょう症の傾向がわかれば治すための治療計画を立てられますので、当院ではまず「見つける」ための骨密度検査を行っています。

検査は予約なしで受けられます。

検査料金は、2,000円（自費）です。

あなたの骨、元気ですか？

「骨粗しょう症検査」を受けましょう！！



「骨粗しょう症」は全世界で

60代以上の女性の3人に1人。

男性では5人に1人がかかっている疾患です。

骨が弱まり、骨折時に合併症（消化器疾患・心肺機能低下）や寝たきりなど、症状の重症化をまねく病気です。

当院では、最新の骨密度測定装置を用いた骨粗しょう症の検査が行えます。お気軽にお申し付けください。